

2016年度の「町田市学校支援連絡会」開催される

去る6月29日に、2016年度の町田市学校支援連絡会が開催されました。町田市学校支援連絡会は学校支援ボランティア活動にかかる情報交換を行う場として位置づけられ、「町田市学校支援センター事業実施要綱」の規定に基づき開催されたものです。



当日は、各校から学校支援連絡会委員と、連携団体の代表者にお集まりいただきました。また、教育委員会からは森山委員と八並委員が出席されました。

はじめに吉川学校教育部長のあいさつに始まり、続いて熊木統括指導主事から事業説明が行われた後、学校支援センターから、2015年度の活動報

告と2016年度の重点目標（*1）などの活動計画を説明いたしました。

連携団体の皆様のご挨拶の後、各団体にVCが加わった形でのグループ別情報交換会となりました。これからの学校と連携団体との新たなつながりや発展を期待して、学校支援連絡会を閉じました。

連携団体をはじめ、学校支援連絡会委員の皆さまには、ご多用の中、町田市学校支援連絡会にお集まりくださいましてありがとうございました。



*1 2016年度の重点目標

～町田市学校支援センター～

- ① VCのサポート体制の強化
- ② 生涯学習部をはじめとした庁内連携の推進
- ③ 「地域協働の学校づくり」の今後の在り方を検討

先の中教審の答申で、「学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策」等が示されました。「支援」から「連携・協働」へ、「個別の活動」から「総合化・ネットワーク化」と広げていく「地域学校協働活動」を積極的に推進する『地域学校協働本部事業』へと発展していく必要が説かれています。

第1回 PCスキルアップ研修会 6/15

VC用のPCを全校に設置し、全校のVCがMGN（町田市学校支援ネットワーク）を用いて、VC事務の効率化・人材等有益情報の収集と共有化を促進することは、町田市学校支援センター事業の充実には欠かせません。

2016年度中には町田市内の公立小・中学校の全校にVC用のパソコンが設置され、MGNが拡充されることとなります。このことに伴い、これまでは一校一校を訪問して操作説明を行ってききましたが、今年度は受講希望者を対象に、PC操作研修会を開催しました。



会場は町田市教育センターのPC研修室で行いました。研修会に出席したのは、19人(午



前の部に7人、午後の部に12人)でした。午前・午後の部ともに、グローバルポータルの開き方、メールの使い方、エクセルを使っでの活動月報の作成方法、人材データベースの使い方、スケジュール機能やファイル機能の紹介などを一人一台のPCを使って研修しました。今後も、ご要望に応じてPC研修会を開催していく予定です。

1学期のVCミーティングを実施しました



6/8 小学校1・2地区 VCM

6/7 小学校3・5地区 VCM

6/6 中学校 VCM

6/10 小学校4・6地区 VCM



1学期の小学校地区別ミーティングでは、他地区のVCの情報を聞く機会が欲しいという声を受け、二つの地区を合同で行っています。他地区のVCから寄せられる情報の中には、自校でも取り入れてみたい活動やVC活動におけるヒント等も詰まっています。有意義な会になったと思います。2学期と3学期は、一つの地区ごとに行うミーティングになります。

レポート1

学級園での野菜づくりと給食会

レポーター 大蔵小学校VC 鈴木 栄市

大蔵小学校の北校舎に沿って各学級が苗などを植え活用している約270㎡の学級園があります。

2年生の学年主任の先生から、「(生活科の授業で)野菜を育てて収穫を体験させたい」との意向を受け、VCとして早急に学級園を耕作する方向でコーディネートすることにしま



した。5月3日(火)に急遽ボランティア数名と学校の教職員の協力のもと、学級園を耕作することができました。

植える苗については、地元で農業を営んでいる大蔵町鶴寿会(老人会)の須崎さんから、「家にある苗をさしあげたい」との申し入れがありました。翌日にナス・トマト・スイカ等の苗70本が届けられたので、5月

14日(土)に再度ボランティアと教職員を募り、学級毎に苗を植え、支柱を立てました。その後、2年生の児童は度々雑草を抜くなどのお世話をしていました。天候にも恵まれ、苗も地に根を張りすくすくと育っていきました。

6月1日(水)の午前11時から、鶴寿会の方々15名と児童がいっしょに、苗をひもで支柱に固定したり、雑草取りをしたりしました。学級園での活動が終わった後、各学級に分かれて児童と一緒に給食を食べることになりました。和気あいあいに給食会は進み、児童から鶴寿会の方々に、「昔は学校で給食はありましたか?」「昔は学校へ行く時はどんな服装でしたか?」「そのころ、幼稚園や保育園がありましたか?」



等の質問がありま

した。これに答えて、「子供の頃は、電気は夜間しか来なかった。」「教室の暖房は火鉢だった。」「登校時は、下駄か草履でした。」等の体験談が語られ、児童たちは大変喜んで聞き入っていました。



後日、参加者に感想を尋ねたところ、「給食会を終えて帰るときは、玄関まで見送りに来たり、『また来てね』とお別れハイタッチをしたりする児童も多くいました。」「食材もかなり高級な物が使われていて、給食がおいしかった。」「児童が明るく健康的でした。」「給食会の翌朝、校門前で学童の交通整理をしていたら、児童から『昨日は給食会ありがとうございました。』とお礼を言われ、ふれあいの重要性を感じました。」等の感想が寄せられました。来年2月

には、4月入学の1年生に対して「昔の遊びと給食会」の授業を予定しています。この1年生の入学してからの成長が見られると思うと楽しみです。

レポート2

大人と子供のための読みきかせの会」

成瀬中央小学校VC 松田美紀子

6月8日(水)に成瀬中央小学校で「大人と子供のための読みきかせの会」による公演がありました。今回の作品は、いせひでこ作「1000の風 1000のチェロ」です。主役のチェロについて、クイズ形式の説明があった後、大型の布絵本の朗読が始まりました。優しい色合いの布絵本と、中井貴恵さんの温かい朗読、そしてなにより力強く、優しく心に響くチェロの音色に、体育館が大きな感動で包みこまれるような素敵な時間を過ごしました。

子供達からも「チェロの奏でる音色が感動的だった」「絵がきれいだった」などの声があがり、司会の先生からの「初めて見る布の大型絵本、めくるたびに



ふわり、ふわりと風を感じる事ができて素敵だったね」という感想でしめくられました。

終了後、チェロ奏者が地方在住のため、タイミングが合わないとなかなか公演できない演目だとお聞きしました。音楽の持つ素晴らしい力を改めて感じた公演でした。

「町田市人材データバンク」の情報検索の際に・・・

町田市人材データバンクに登録された方には、便宜上6桁のID番号をつけております。ID番号の上2桁が登録年度を表しており、2016年度にボランティア登録された方は、16△△△△のようなID番号がついています。

この点をおさえたうえで、町田市人材データバンクの情報を検索することを推奨しています。

さらに、本人と連絡を取る際には、次の点にご配慮いただければと思います。

◇登録年度の新しい方から連絡する。

◇学生時代に登録された方の中には、現在は卒業した人もいます。ボランティア登録者のID番号から現況を推量して、連絡の可否を判断する。

例) 140033の大学生が登録時に3年生→2016年度は卒業済みの可能性が大きい

今後、人材情報の確かさを高めるために、

●大学生の学校支援ボランティア登録期間は大学在学中とする。

●社会人の学校支援ボランティア登録期間は5年間とする。

など、ボランティア登録期間を設けることを検討しているところです。